

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **05032271 A**

(43) Date of publication of application: **09.02.93**

(51) Int. Cl.

**B65D 77/04**  
**B65D 81/28**

(21) Application number: **03160264**

(22) Date of filing: **01.07.91**

(71) Applicant: **KOBAYASHI PHARMACEUT CO LTD**

(72) Inventor: **MURAKAMI SHINICHI**

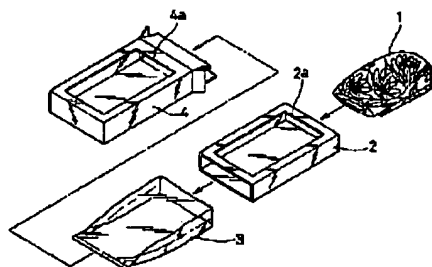
(54) **PACKAGING METHOD FOR VOLATILE  
INGREDIENT-CONTAINING PRODUCT AND  
PACKAGING BOX THEREOF**

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent a volatile ingredient from being lost without decreasing the commodity value by a method wherein a volatile ingredient-containing product is placed in an internal box with an open window, and this internal box is placed in a transparent bag, and the bag is sealed, and in addition, this transparent bag is placed in an external box with an open window.

CONSTITUTION: Since a volatile ingredient-containing product 1 is covered only by a transparent bag 3, the volatile ingredient-containing product 1 does not become hard to see due to irregular reflection, and the design property does not deteriorate. That is, the volatile ingredient-containing product is under the same packaging condition as being placed in a box with a window on which a transparent film is placed, and the commodity value does not decrease. In addition, since the volatile ingredient-containing product 1 is sealed by the transparent bag 3 with high gas barrier property, the volatile ingredient is not lost.



THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-32271

(43) 公開日 平成5年(1993)2月9日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 77/04	A	9145-3E		
81/28	B	7191-3E		

審査請求 未請求 請求項の数2(全4頁)

(21) 出願番号 特願平3-160264

(22) 出願日 平成3年(1991)7月1日

(71) 出願人 000186588

小林製菓株式会社

大阪府大阪市中央区道修町4丁目3番6号

(72) 発明者 村上 真一

大阪府豊中市服部寿町3丁目11番地1号

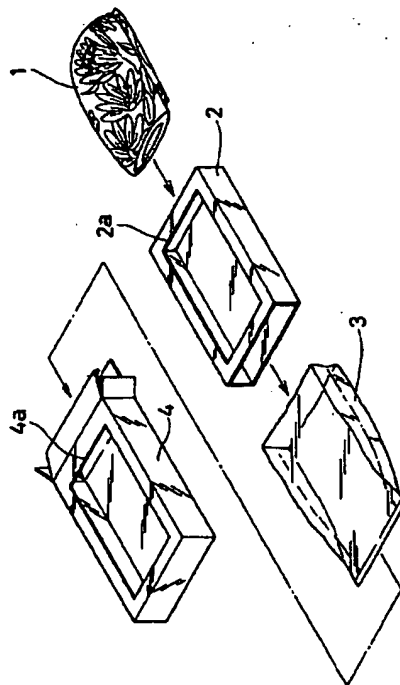
(74) 代理人 弁理士 辻本 一義

(54) 【発明の名称】 揮発性成分含有製品の包装方法およびその包装用箱

(57) 【要約】

【構成】 この発明に係る揮発性成分含有製品の包装方法は、揮発性成分含有製品1を開放された窓孔2a付きの中箱2に入れ、この中箱2を透明袋3に入れて密封し、さらにこの透明袋3を開放された窓孔4a付きの外箱4に入れるようにしている。

【効果】 この発明に係る揮発性成分含有製品の包装方法は、揮発性成分含有製品1が透明袋3のみで覆われるので、乱反射を起こして揮発性成分含有製品1が見にくくなることはなく、意匠性を悪くするようなことはない。つまり、揮発性成分含有製品1は透明フィルム張りの窓孔11a付きの箱11に入れたのと同様な包装形態となり、商品価値を低下させるということはない。しかも、ガスバリアー性の高い透明袋3により揮発性成分含有製品1は密閉されているため揮発性成分の損失もない。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 揮発性成分含有製品1を開放された窓孔2 a付きの中箱2に入れ、この中箱2を透明袋3に入れて密封し、さらにこの透明袋3を開放された窓孔4 a付きの外箱4に入れることを特徴とする揮発性成分含有製品の包装方法。

【請求項2】 揮発性成分含有製品1を入れる開放された窓孔2 a付きの中箱2、この中箱2を入れて密封する透明袋3、この透明袋3を包装する開放された窓孔4 a付きの外箱4よりなることを特徴とする揮発性成分含有製品の包装用箱。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、芳香剤や忌避剤等の揮発性成分を含有する製品を包装する方法、およびこのような揮発性成分を含有する製品の包装用箱に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、芳香剤や忌避剤等の揮発性成分を含有する製品を包装するには、図5に示したように、このような揮発性成分含有製品1をガスバリアー性の高い合成樹脂製透明フィルムで作製された袋10に密閉し、さらにこれを透明フィルム張りの窓孔11 a付きの箱11に入れていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の揮発性成分含有製品の包装方法では、箱11に入れられた揮発性成分含有製品1は袋10を構成する透明フィルムと箱11の窓孔11 aに張った透明フィルムで二重に覆われるため、図6に示したように乱反射を起こして揮発性成分含有製品1が見にくくなり、意匠性を悪くしたり、商品価値を低下させるという課題を有していた。

【0004】そこで、この発明は、上記従来の揮発性成分含有製品の包装方法が有する課題を解決することを目的としてなされたものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】そのため、この発明に係る揮発性成分含有製品の包装方法は、揮発性成分含有製品1を開放された窓孔2 a付きの中箱2に入れ、この中箱2を透明袋3に入れて密封し、さらにこの透明袋3を開放された窓孔4 a付きの外箱4に入れるようにしている。

【0006】さらに、この発明に係る揮発性成分含有製品の包装用箱は、揮発性成分含有製品1を入れる開放された窓孔2 a付きの中箱2、この中箱2を入れて密封する透明袋3、この透明袋3を包装する開放された窓孔4 a付きの外箱4よりなるものとしている。

## 【0007】

【作用】この発明では、上記手段を施したため、揮発性

成分含有製品1は、透明袋3のみで覆われる。しかも、揮発性成分含有製品1は、透明フィルム張りの窓孔11 a付きの箱11に入れたのと同様な包装形態となる。

## 【0008】

【実施例】以下、この発明に係る揮発性成分含有製品の包装方法およびその包装用箱を、実施例として示した図面に基づいて説明する。この発明に係る揮発性成分含有製品の包装用箱は、図に示したように、揮発性成分含有製品1を入れる開放された窓孔2 a付きの中箱2、この中箱2を入れて密封する透明袋3、およびこの透明袋3を包装する開放された窓孔4 a付きの外箱4よりなる。

【0009】前記揮発性成分含有製品1としては、芳香剤をしみ込ませた布製品、人形、ぬいぐるみなど各種のものが挙げられ、特に限定されることはない。前記中箱2および外箱4は、厚紙、板紙、合成樹脂の薄板など各種の材料で作製される。前記透明袋3は、ガスバリアー性の高い合成樹脂製透明フィルムなどで作製される。

【0010】以上のように構成された包装用箱を用いて、揮発性成分含有製品を包装するには、図1または図3に示したように、揮発性成分含有製品1を開放された窓孔2 a付きの中箱2に入れ、この中箱2を透明袋3に入れて密封し、さらにこの透明袋3を開放された窓孔4 a付きの外箱4に入れれば、図2または図4に示した状態として包装することができる。

## 【0011】

【発明の効果】この発明に係る揮発性成分含有製品の包装方法およびその包装用箱は、以上に述べたように構成されており、揮発性成分含有製品1が透明袋3のみで覆われるので、乱反射を起こして揮発性成分含有製品1が見にくくなることはなく、意匠性を悪くするようなことはない。つまり、揮発性成分含有製品1は透明フィルム張りの窓孔11 a付きの箱11に入れたのと同様な包装形態となり、商品価値を低下させるということはない。しかも、ガスバリアー性の高い透明袋3により揮発性成分含有製品1は密閉されているため揮発性成分の損失もない。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る揮発性成分含有製品の包装方法を示す説明図である。

【図2】この発明に係る揮発性成分含有製品の包装用箱の包装状態を示す斜視図である。

【図3】この出願の発明に係る揮発性成分含有製品の包装方法を示す説明図である。

【図4】この発明に係る揮発性成分含有製品の包装用箱の包装状態を示す斜視図である。

【図5】従来の揮発性成分含有製品の包装方法を示す説明図である。

【図6】従来の揮発性成分含有製品の包装用箱の包装状態を示す斜視図である。

## 【符号の説明】

(3)

特開平5-32271

1 揮発性成分含有製品

2 中箱

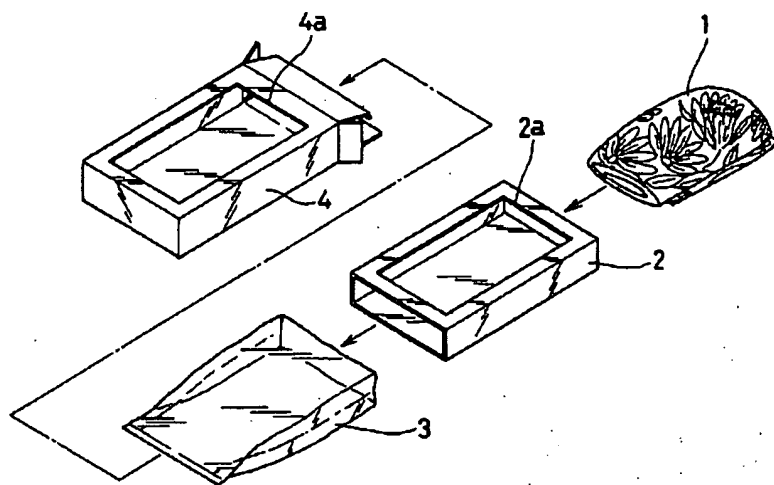
2 a 窓孔

3 透明袋

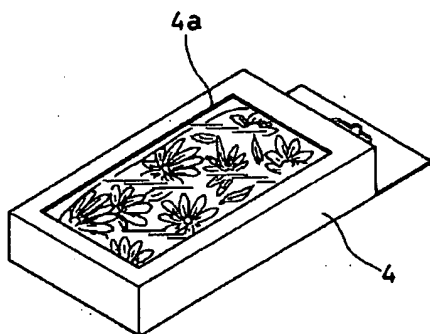
4 外箱

4 a 窓孔

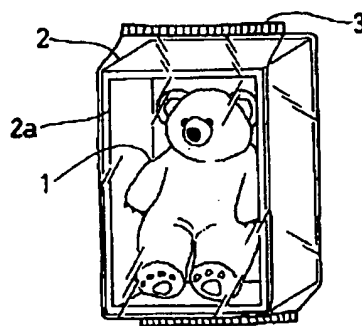
【図1】



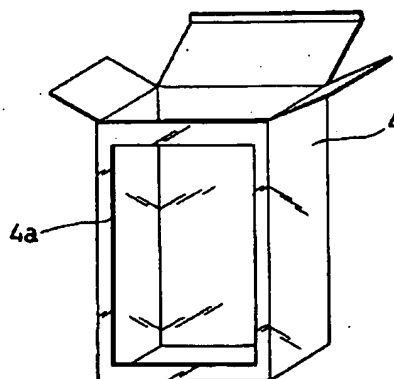
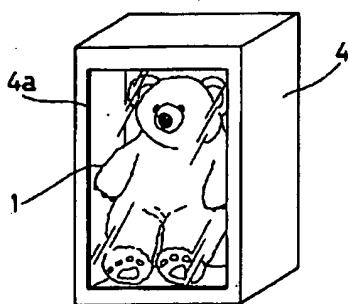
【図2】



【図3】



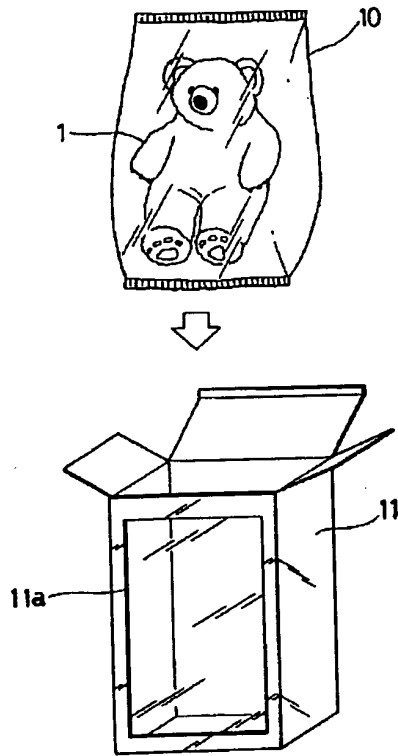
【図4】



(4)

特開平5-32271

【図5】



【図6】

